

第120200回リニアドライブ技術委員会議事録

日時:平成 22 年 7 月 16 日(金)13:30-16:30

場所:JR 東海品川ビル A 棟会議室

出席者:委員長 脇若(信州大)

副委員長 北野(JR 東海)

委員 小豆澤(東京都市大)、岩松(鉄道総研)、海老原(等々力高校)、大崎(東京大)、
前田(シンフォニア)、大穀(三菱電機)、増澤(茨城大)、岡本(東海大)、
森下(東芝)、矢野(産総研)、渡辺(IEEJ プロ)

幹事 水野(信州大)、村井(JR 東海)

提出資料:

- 120-1 第 119 回リニアドライブ技術委員会議事録(案)(矢島幹事補佐)
- 120-2 第 98 回部門研究調査運営委員会(北野副委員長)
- 120-3 電気技術発展の長期ビジョン検討における電気技術への理解および電気学会認知向上のための提案(脇若委員長)
- 120-4 平成 22 年度リニアドライブ技術委員会活動報告(脇若委員長)
- 120-5 平成 22 年度研究会計画:テーマと開催地一覧(脇若委員長)
- 120-6 交通・電気鉄道/リニアドライブ合同研究会(北野副委員長)
- 120-7 リニアドライブ技術分野の活性化に関する議論のたたき台(小豆澤委員)
- 120-8 LD 技術委員会基礎データ(北野副委員長)
- 120-9 平成 21 年度(2009 年)の活性化指数(脇若委員長)
- 120-10 平成 23 年度電気学会全国大会シンポジウム取り決め(脇若委員長)
- 120-11 産業用リニアドライブ技術と応用の変遷調査専門委員会(MEL)活動報告(渡辺委員)
- 120-12 環境調和型磁気支持応用技術調査専門委員会(MLV)活動報告(森下委員)
- 120-13 医用アクチュエーション周辺技術の高度化に関する協同研究委員会(ECD)活動報告(岡本委員)
- 120-14 新世代アクチュエータの多自由度化可能性調査専門委員会(MDD)活動報告(矢野委員)
- 120-15 第 1 回産業用リニアドライブ技術と応用の変遷調査専門委員会議事録(渡辺委員)
- 120-16 第 2 回産業用リニアドライブ技術と応用の変遷調査専門委員会議事録(渡辺委員)
- 120-17 第 10 回環境調和型磁気支持応用技術調査専門委員会議事録(森下委員)
- 120-18 第 7 回新世代アクチュエータの多自由度化可能性調査専門委員会(矢野委員)
- 120-19 回転機/リニアドライブ合同研究会(小豆澤委員)

議事

1. 議事録確認

資料 120-1 を用いて議事録の確認が行われた結果、以下を修正することで承認された。

(1)3.6 項が 2 つあるため、修正すること

2. 報告事項

2. 1 資料 120-2 を基に、北野副委員長から、第 98 回部門研究調査運営委員会の内容について以下の報告があった。

- (1) 資料 120-3 のように電気学会のロードマップが示された。
- (2) 新たに家電・民生技術委員会およびものづくり技術委員会が設置される。
- (3) 産業応用フォーラム等における懇親会について、ガイドラインが定められ、各委員に配布するので確認すること

2. 2 資料 120-4 を基に、脇若委員長から運営委員会に提出した平成 22 年度リニアドライブ活動報告の紹介があり、今後の研究会予定として以下が確認された。

- (1) MDD 共催研究会は 12/14、ECD 共催研究会は 11/20、MLV 共催研究会は 12/16,17

2. 3 資料 120-6 を基に、北野副委員長から 7 月開催交通・電気鉄道との合同研究会、資料 120-19 を基に、小豆澤委員から、8 月開催回転機との合同研究会の紹介があった。

3. 審議事項

3. 1 資料 120-7 および資料 120-8 を基に、リニアドライブ技術分野の活性化に関する以下の議論を行った。

- (1) LD 技術委員会独自の奨励賞の創設について、①研究会内での表彰のあり方②年間を通じての表彰のあり方について討論がなされ、その結果を踏まえ、次回、幹事 G から案を提案することとなった。

- (2) 研究会資料の検索システムへの対応が遅れているとの指摘があり、研究調査運営委員会へ要望を提案することとした。

- (3) その他、以下のような討論および意見があった。

- ・プロジェクトによる予算の獲得を目指すべきまたそのための研究調査専門委員会を設置すべき
- ・魅力あるテーマを提案することが重要である
- ・制御分野でリニアを利用しているグループは多いので、LD メンバーに加えるべき
- ・核となる大学およびグループを増やすことが重要である
- ・委員会名称および研究会テーマの再考も必要ではないか

3. 2 資料 120-10 を基に、脇若委員長から、平成 23 年度全国大会シンポジウムに関する説明があり、ECD 委員会にて検討をお願いすることとなった。

3. 3 LDIA についての懸案事項について討論し、次回 LDIA に向けて、共催の手続き、論文募集の徹底を図ることとなった。

4. 各調査専門委員会活動報告

資料 120-11～120-18 を用いて、各調査専門委員会から活動報告および議事録の紹介があった。

5. その他

委員会終了後、海老原委員からフェロー就任の御礼および小豆澤委員から退任の挨拶があった。